



✓ Third party verified

Environmental Product Declaration

Conformance with

ISO14025

ISO14040

ISO14044

HITACHI

株式会社 日立製作所

Hitachi, Ltd.

標準型エレベーター アーバンエース HF Plus

Hitachi Standardized Elevator Urban Ace HF Plus



登録番号

SuMPO-EPD-2603-115-1

検証合格日

2026/3/3

公開日

2026/3/12

検証有効期間

2031/3/2

EPDタイプ

単一製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930:2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

●基本情報

>プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

>GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	エレベーター
PCR登録番号	PA-355110-AK-05
PCR認定日	2023/5/10
レビューパネル委員長（所属）	神崎 昌之（一般社団法人サステナブル経営推進機構）
PCR有効期限	2028/5/9
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

>検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	<input type="checkbox"/> 内部	<input checked="" type="checkbox"/> 外部	
	<input checked="" type="checkbox"/> 検証員による 第三者検証	<input type="checkbox"/> 検証機関による 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	古屋 暁子（イー・アンド・イーソリューションズ株式会社）		

>準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	株式会社 日立製作所 アーバンシステムビジネスユニット 環境推進部
住所	東京都 千代田区神田淡路町二丁目101番地 ワテラストワー
問い合わせ先	03-3295-1211
LCA算定実施者（所属）	株式会社日立ビルシステム 製品開発本部 開発統括部
事業者概要	日立は、IT、OT、プロダクトを通じて社会イノベーション事業を推進し、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。

●製品情報

製品名称	標準型エレベーター アーバンエース HF Plus		
製品の型式	R-9-2S60		
製品仕様	製品機能	人又は人および物を運搬する昇降機（建築基準法施行令 129 条より抜粋）の提供	
	製品質量	4603.81kg	換算係数 -
	製品の用途	住宅用エレベーター	
	技術性能	建築基準法施行令 第129 条に規定される人又は人および物を運搬する昇降機でかごの水平投影面積が1 平方メートルを超え、または天井高さが1.2 メートルを超えるもの	
RSL(基準使用年数)	年数	20年	
	使用条件	PCR 項番9-4に記載されたシナリオに従った。	
	年数を設定した根拠	PCR 項番2-3に記載された年数とした。	
製造サイト（製造拠点）	株式会社日立ビルシステム水戸事業所 茨城県ひたちなか市市毛1070番地		
製品概要	機械室無しタイプ 略仕様 R-9-2S 用途 住宅用 積載質量 600kg(9人乗り) 速度 60m/min 階床数 5階床 ドア型式 2枚戸片開き		
製品ウェブサイト	-		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
鋼材	83.31	3792.61	kg
鉄系鋳造品	4.29	195.34	kg
ステンレス	0.24	10.72	kg
アルミ	0.65	29.66	kg
プラスチック	0.73	33.37	kg
その他	10.77	490.50	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
木枠	77.19	39.84	kg
段ボール箱	19.15	9.88	kg
梱包用プラスチック袋	2.82	1.46	kg
梱包用紙	0.84	0.43	kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	-	-
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	-	-

●LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 単一製品	<input type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品
	サイトタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 特定サイト		<input type="checkbox"/> 複数サイト
	開示方法	<input checked="" type="checkbox"/> 特定値	<input type="checkbox"/> 加重平均値	<input type="checkbox"/> 代表値 <input type="checkbox"/> 上限値
地理的範囲		仕向け先：日本国内		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		-		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		-		
複数製品EPDの説明		-		

> LCA関連情報

宣言単位	製品1台		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	4603.81kg/台		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）	-		
システム境界	<input type="checkbox"/> Cradle-to Gate	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	MiLCA for EPD		
LCIデータベース	AIST-IDEAv3.1		
特性化モデル	気候変動：IPCC2013 GWP100a、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	-		
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。		
一次データ収集拠点	株式会社 日立ビルシステム 水戸事業所		
一次データ収集期間	2024年4月～2025年3月		
生物由来炭素の取り扱い	<input checked="" type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input type="checkbox"/> -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス	<input type="checkbox"/> その他
	種類	-	
	購入日	-	
	発行元	-	

> 算定対象段階

資材製造段階			施工段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	■	-	-	■	-	-	-	■	-	-	■	■	■	-

■：算定対象 -：算定対象外

> アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。エレベーター製造プロセスにおいては同工場内で複数仕様のエレベーターが製造されている。プロセスの細分化によるアロケーション回避が困難であるため原材料調達の生産用副資材量、エネルギー量（製品の製造に係る電気・水・燃料）、大気・土壌・水圏への排出物の排出量、工場から排出されるリサイクル材量、中間処理量、廃棄量を同工場で生産されるエレベーター製品の生産数、工数及び外注加工の重量比による物理量で配分を行った。

> カットオフ

PCRに基づき、A4（建設現場への輸送用副資材の廃棄にかかる負荷部分）、A5、B1、B2（保守員の移動にかかる負荷部分）、B3、B4、B5、B7（製品使用時の水の使用にかかる負荷部分）、C1をカットオフ対象とした。C2およびC4において、木くず・紙くずの質量は0.00016(t)であり重量比は $0.00016(t) / \{0.1267(t) + 0.00016(t)\} \approx 0.13\%$ であるため、単位プロセス総投入量の1%未満としてカットオフ対象とした。

> システム境界

PCRに基づき算定対象段階は、資材製造段階(A1-A3)、施工段階(A4)、使用段階(B2、B6)、解体段階(C2-C4)とした。リサイクル材については中間処理まで、廃棄物については最終処理が完了するまでをシステム境界内とした。製品の輸送に際して繰り返し使用するパイプコンテナは資本財であるため、その製造にかかるプロセスはシステム境界外とした。時間的システム境界は100年である。

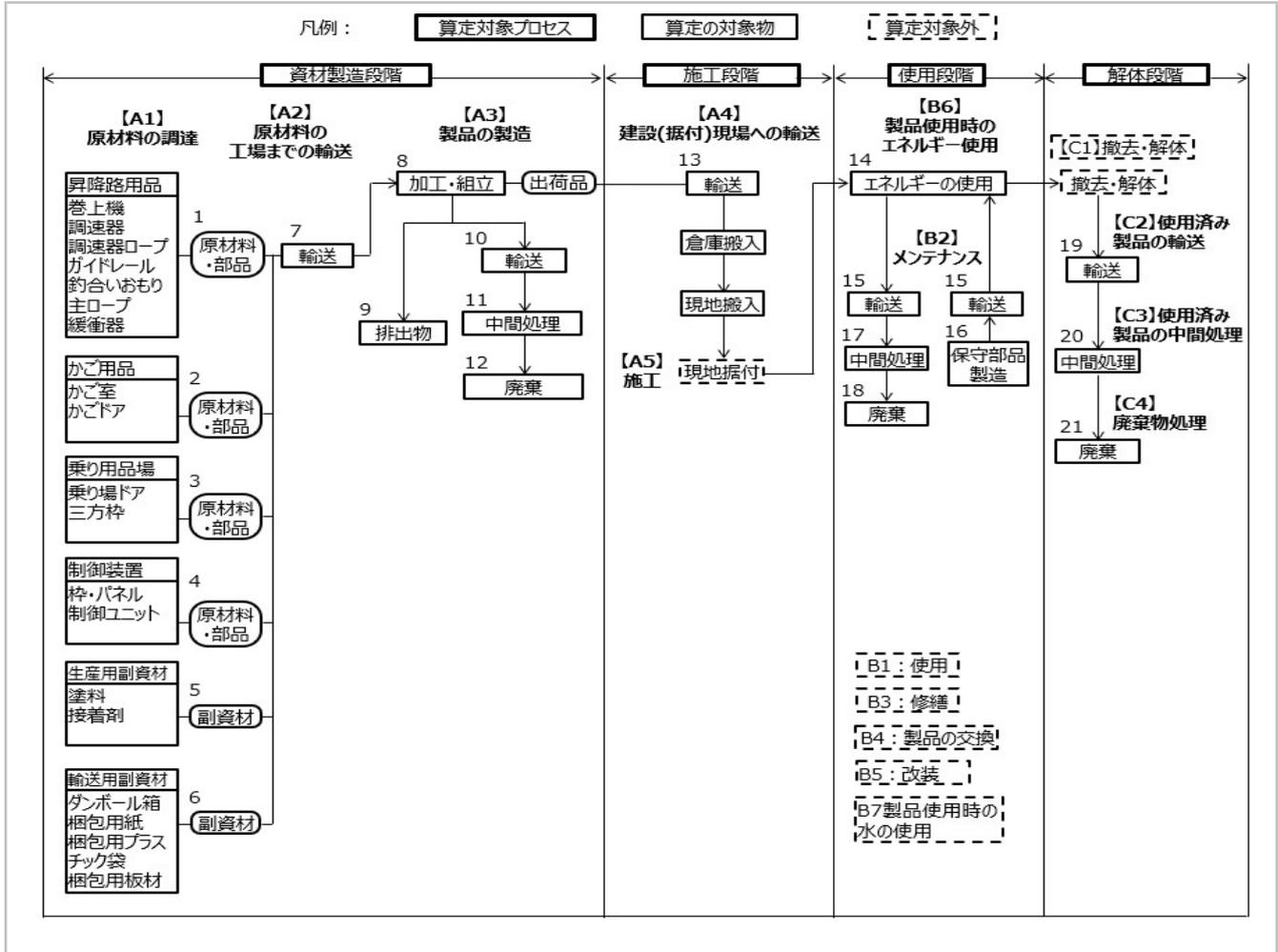
> シナリオ

モジュール	説明
A2, A3, A4, B2, C2	輸送手段および輸送距離（一部）はPCR 附属書Bに記載のシナリオを使用した。
B6	消費電力量はPCR 9-4に記載のシナリオを使用した。
C3	PCR 10-4に記載のシナリオを使用した。
B2, C2, C4	廃棄物処理においては環境省が公開する資料（産業廃棄物の排出及び処理状況等_令和4年度実績）より廃棄物の最終処分率を引用して使用した。

> 電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2018年度における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

> ライフサイクルフロー図



●算定結果

> ライフサイクル影響評価結果

		資材製造段階(A1-A3)	施工段階(A4)	使用段階(B2,B6)	解体段階(C2-C4)	—	D 境界外
気候変動	kg-CO ₂ eq	1.59E+04	8.54E+02	3.82E+04	5.56E+02	—	—
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.50E-03	1.15E-08	9.17E-03	4.46E-05	—	—
酸性化	kg-SO ₂ eq	1.32E+01	2.78E+00	3.76E+01	8.52E-01	—	—
都市域大気汚染	kg-SO ₂ eq	9.02E+00	1.05E+00	2.87E+01	3.65E-01	—	—
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	3.32E+00	6.40E-03	7.38E-01	5.18E-03	—	—
有害化学物質(発がん性)	kg-C ₆ H ₆ eq	2.87E+01	4.25E-03	2.66E+00	2.13E-01	—	—
有害化学物質(慢性)	kg-C ₆ H ₆ eq	1.76E-01	2.76E-03	1.50E-01	1.67E-03	—	—
水生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	4.43E+01	1.36E-04	9.68E+01	4.40E-01	—	—
陸生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	7.31E+02	2.24E-03	2.02E+03	9.02E+00	—	—
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	3.01E-01	8.78E-09	2.08E-02	9.55E-03	—	—
土地利用(維持)	m ² /年	3.76E+02	6.37E+01	2.33E+02	8.40E+00	—	—
土地利用(改変)	m ² /年	3.75E+00	1.27E+00	6.08E+00	1.76E-01	—	—
資源消費	kg-Sbeq	1.54E+00	3.55E-03	9.64E-01	2.14E-01	—	—

> ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		資材製造段階(A1-A3)	施工段階(A4)	使用段階(B2,B6)	解体段階(C2-C4)	—	D 境界外
非再生可能資源	kg	6.33E+03	8.57E-04	6.61E+02	1.29E+01	—	—
非再生可能エネルギー	kg	6.62E+03	2.60E+02	1.44E+04	1.34E+02	—	—
非再生可能エネルギー	MJ	2.30E+05	1.17E+04	5.92E+05	5.71E+03	—	—
再生可能資源	kg	3.98E+03	2.18E-04	1.54E+02	4.23E+00	—	—
再生可能エネルギー	MJ	2.20E+04	2.97E-01	2.40E+05	1.15E+03	—	—
淡水の消費	m ³	2.28E+02	1.74E-02	8.10E+00	2.89E-01	—	—

> 廃棄物関連情報

		資材製造段階(A1-A3)	施工段階(A4)	使用段階(B2,B6)	解体段階(C2-C4)	—	D 境界外
有害廃棄物	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	—	—
無害廃棄物	kg	2.15E+02	7.42E-06	3.66E+01	8.77E+02	—	—
一般廃棄物 埋立物	kg	4.52E-04	1.20E-14	1.77E-04	3.71E-11	—	—
産業廃棄物 埋立物	kg	2.15E+02	7.42E-06	3.66E+01	8.77E+02	—	—

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

> 出力フローに関する環境情報

		資材製造段階(A1-A3)	施工段階(A4)	使用段階(B2,B6)	解体段階(C2-C4)	—	D 境界外
再利用可能な部品	kg	—	—	—	—	—	—
リサイクル用材料	kg	—	—	—	—	—	—
エネルギー回収用材料	kg	—	—	—	—	—	—
廃棄物からの排出エネルギー (エネルギー回収効率≧60%)	MJ	—	—	—	—	—	—
廃棄物の焼却 (エネルギー回収効 率<60%)	廃棄物焼却処分量	kg	—	—	—	—	—
	回収エネルギー	MJ	—	—	—	—	—
廃棄物の埋立 (廃棄物の埋立により発生 する埋立ガスからのエネルギー 回収)	廃棄物埋立処分量	kg	—	—	—	—	—
	回収エネルギー	MJ	—	—	—	—	—

> LCA算定結果に関する説明

- ・輸送シナリオについてはPCRに従い算定した。
- ・生産用資材において、使用したLCIデータベースに一致する原単位がない場合、近似の原単位もしくは対象を包含する原単位を用いており、資材特有の特性を反映していない場合がある。
- ・使用段階はPCR項番9-4に記載した一定のシナリオに基づくものであり、エレベーターユーザーの使用状況によって変化しうるものである。

【算定時の使用シナリオ】

- ・使用期間：20年
- ・運転時間：2000H/年
- ・稼働量：1日の稼働時間：12H/日、稼働日数：25日/月
- ・ドアの開閉：2000回/日

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

本製品はISO9001および14001認証取得工場にて製造されている。

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
イソプロピルアルコール	67-63-0	労働安全衛生法、化審法
酢酸n-ブチル	123-86-4	労働安全衛生法
メチルシクロヘキサン	108-87-2	労働安全衛生法
2-イソブトキシエタノール	4439-24-1	労働安全衛生法、化審法
2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール	124-68-5	労働安全衛生法
酸化チタン	13463-67-7	労働安全衛生法
カーボンブラック	1333-86-4	労働安全衛生法
1,3,5-トリメチルベンゼン	108-67-8	労働安全衛生法、化審法、PRTR制度
ノナン	111-84-2	労働安全衛生法、PRTR制度
1,2,4-トリメチルベンゼン	95-63-6	労働安全衛生法、化審法、PRTR制度
プロピレングリコールモノメチルエーテル	107-98-2	労働安全衛生法
酸化亜鉛	1314-13-2	労働安全衛生法
イソヘキサン	107-83-5	労働安全衛生法
エタノール	64-17-5	労働安全衛生法

建材および建設製品からの危険物質の放出

—

●用語の定義

—

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO 21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products
- ・環境省 (2025/3), 産業廃棄物の排出・処理状況等 (令和 4 年度実績), 環境省, <https://www.env.go.jp/content/000301060.pdf>, 2025/11/27.

●改訂履歴

—